

レインボーアイランド

～特色ある輝きをみせる7つの島～

唐津市の面する玄界灘には、特色ある輝きをみせる大小七つの島々が浮かぶ。ひとつひとつの島に、それぞれが育んできた文化があり、大切に守られている伝統がある。そして近年、この七つの島の連携により効果的な情報発信がなされ、「レインボーアイランド」としての新たな発展の方向性が模索されている。

■小川島

かつて捕鯨の一大拠点として知られた「小川島」、漁の中心がイカ漁へと移行した現在も「小川島鯨骨切り唄」を完全な状態で現在に伝えるなど、固い結束力で古くからの伝統を守っている。

■馬渡島

仏教徒とカトリック教徒がそれぞれほぼ半分ずつを占める「馬渡島」は、信仰心厚い祈りの島。盛大なお盆行事やお大師さん巡り、カトリック教会堂の手入れの行き届いた美しさなどに、祈りと共にある人々の暮らしが垣間見える。

■向島

かつて豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に物見番所として重用された「向島」、人口90名余りの小さなこの島は、「酔いつぶれ」の異名をとる八坂神社の祇園祭りや島民総出で楽しむ運動会やカルタ大会などで、島全体がひとつの家族のような雰囲気包まれる。

■松島

人が住み始めてまだ150年程と伝えられる「松島」は、80名弱の島民のほとんどが敬虔なカトリック教徒。国土交通省選定の「島の宝100選」に選ばれた伝統の海土漁を引き継ぐ一方、新たな産業としてオリーブの木の栽培などにも取り組んでいる。

■加唐島

百濟25代国王「武寧王」生誕の地として注目を集める「加唐島」は、「百濟武寧王生誕の伝承」で「島の宝100選」にも選出された。武寧王を架け橋とした日韓の草の根交流の拠点となる一方、天然の椿やユウスゲが咲き誇る美しい島でもある。

■神集島

神功皇后が神々を集めて海の安全を祈願したことから名を得たとも伝えられる「神集島」は、大和朝廷の使節団が島で詠んだとされる7首が万葉集に収められている万葉の島で、歌碑を巡る「万葉ウォーク」が毎年開催されている。

■高島

「宝が当たる島」として毎年たくさんの観光客が宝当神社を訪れる「高島」。島の若者を中心とした島おこしグループの様々なアイデアが島を一気に活気付け、かつて年間観光客300人の島が多い時には一日4000人も人が訪れる島となった。

玄界灘に浮かぶ七つの美しい島々、それぞれの特色ある輝きは、唐津に多彩な彩りをもたらしている。

分野 産業

地域 肥前・鎮西・唐津・呼子

◎地図・写真・統計資料など



小川島



馬渡島



向島



松島



加唐島



神集島



高島

(『唐津探訪』より)

◎引用・参考文献(出典)

- ・「七つの島物語」(島づくり事業実行委員会)



◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html